

取組の名称		ICU三鷹キャンパスの森	
活動主体（団体名）		学校法人国際基督教大学	
活動主体（団体名）（フリガナ）		ガッコウホウジンコクサイキリストキョウダイガク	
取組の内容 （自由記述）	①概要	ICU三鷹キャンパスの森は、東京ドーム約13個分にもおよぶ広大な敷地の中に、武蔵野の面影を残す雑木林、国分寺崖線の一部などを有し、また、都立野川公園、都立武蔵野公園が隣接しており、市街地化の進んだ三鷹市周辺のなかでは、とりわけ豊かな自然を有する地域です。キャンパスの自然資源を授業や研究、堆肥作りや蜂蜜作りなどの学生活動の場として活用しているほか、身近に食や自然にかかわる場をつくる「ファームプロジェクト」、雑木林を再生させ、武蔵野の原風景である生態系の復活を図る「雑木林再生プロジェクト」等、様々な活動を展開しています。	
	②取組内容を確認できるURL（または資料添付）	https://www.icu.ac.jp/about/woodland/	
	③実施時期、頻度	2024年以降通年実施	
	④活動場所（所在地）	三鷹市	
	⑤活動の規模（参加者数）	大学全体（学生・教職員合わせて約三千数百名）、同窓生、地域住民のみなさま	
	⑥活動状況がわかる写真（撮影年月日）（既に実施している場合）※		
	2025年9月27日	2024年10月30日	
対応する社会課題 （該当する項目にチェック／複数選択可）		☐	子供の福祉（子供の健やかな成長を社会全体でサポート）
		☒	都民の健康・長寿（誰もが元気で心豊かに暮らせる地域の実現）
		☒	コミュニティ形成（誰もが集い、支え合うコミュニティを至るところに形成）
		☒	防災・減災／気候変動対策（地球温暖化に伴う豪雨や自然災害等の被害軽減）
		☒	地域振興（東京全体の生産性、魅力向上）
		☒	観光・文化振興（人々のウェルビーイング、東京のプレゼンス向上）
		☐	農林水産業の成長（危機に強い産業構造への転換）
		☒	緑や水辺を生かした空間の創出／自然地保全・管理（都市機能を高め、世界を魅了）
活用している生態系の機能 （該当する項目にチェック／複数選択可）		☒	供給サービス（日々の暮らしに必要な資源を供給／食料、繊維、木材、水、薬品など）
		☒	調整サービス（二酸化炭素の吸収）
		☐	調整サービス（都市環境の質の向上／ヒートアイランド現象・暑熱環境の緩和）
		☐	調整サービス（都市環境の質の向上／大気汚染や騒音の低下）
		☐	調整サービス（災害の緩和／台風、洪水、津波、地滑り、雨水浸透、Eco-DRR）
		☐	調整サービス（水質の浄化／窒素やリンの吸収、有機物の取り込み）
		☒	調整サービス（花粉媒介／植物の世代交代、農作物の収穫量の増加）
		☒	文化的サービス（精神を豊かにする機能／芸術的・文化的なひらめき、教育的効果、心身のやすらぎ、観光レクリエーションなど）
		☒	基盤サービス（生息・生育環境の提供）
		☒	基盤サービス（光合成による酸素の生成）
		☒	基盤サービス（地力の維持及び栄養循環）
		貢献の内容 （自由記述）	①人間の幸福に対して
②生物多様性に対して	・学生や教職員が安全にキャンパス内で活動するための樹木剪定・除草など環境整備と、動植物に配慮した環境保全を両立するための「ゾーン別緑地維持管理計画」を策定。人為的な介入度に濃淡をつけた管理により生物多様性を確保。 ・雑木林再生の取組や、定期的な下草刈りなどの維持管理作業により、ニリンソウやラン類などの希少植物や、アナグマなど野生動物の生息環境を保全。専門家をして「武蔵野地域の雑木林のレファレンスサイト」と評されるほどの生物多様性を維持している。 ・キャンパスの自然を活用した作物生産を通じて、ICUの持続可能な自然環境保全に貢献し、学生の環境に対する意識向上を促進。		